

まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

東京病院の「外気舎記念館」が市の指定有形文化財に



東京病院にある外気舎記念館（普段は施錠されている）

市では、2月に、東京病院内にある「外気舎記念館」を市指定有形文化財に指定しました。外気舎は、結核患者が入院前に最後に過ごした療養所で、かつては病院内に72棟ありましたが、取り壊されて今では1棟だけが残っています。外気舎は、昭和10年代の結核治療の主流であった大気安静療法を現在に伝える貴重な施設で、後世に伝承していくべきものです。

問合せ 郷土博物館 ☎493・8585

清瀬消防少年団平成26年度入卒団進級式を実施

4月13日、中清戸地域市民センターで、清瀬消防少年団が「清瀬消防少年団の平成26年度入卒団進級式」を行いました。新入団員を迎え37人となった清瀬消防少年団は、「七つのちかい」のもと、一年間の活動を通じて、防火・防災に関する知識や技術を身に付け、思いやりや協力する力などの大切さを学んでいく予定です。



清瀬消防少年団の皆さんと関係者の方

下宿の「ふせぎ」行事を行いました



観音坂の三叉路にかかっている、わらで作られた16尺の大蛇

5月3日、円通寺・観音坂の三叉路で、清瀬に古くから伝わる民俗行事「ふせぎ」が行われました。平成元年3月に東京都指定無形民俗文化財となった「ふせぎ」は、わらで作った大蛇を飾り疫病や害虫が侵入するのを防ぐ民俗行事です。「ふせぎ」は貴重な民俗文化の一つとして、清瀬市下宿ふせぎ保存会の人々によって大切に守られています。

チャリティーコンサートを開催



渋谷市長（中央）に、集まった義援金を渡す出演者の皆さん

5月4日、清瀬けやきホールで、太田聖士さんと実践女子大学Jazz部、市内中学生などによる、東日本震災復興支援チャリティーコンサートが行われました。当日は皆さんのご協力により、14万9千523円の義援金が集まりました。義援金は、清瀬市を通じて日本赤十字社に送られます。



優勝を果たした藤崎さん

3月23日、横浜国際プール（横浜市都筑区北山田七丁目）で、「第16回ジャパンプランカップジュニア空手道選手権大会」が開催され、11月に行われるカラテ甲子園・全国大会出場をかけた熱い戦いが繰り広げられました。市内からは、藤崎凌世さん（清小5年）が出場し、5回戦を勝ち抜き活躍を見事、優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れました。

がんばりすく

投稿募集中 あなたも市報に参加しませんか

①キラリ☆スポット②まちかどニュース③清瀬こども俳句
応募方法 5月20日（必着）までに、①・②は写真（データが望ましい）に説明を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、郵送・持参・メールで秘書広報課へ、③は小・中学生対象で、はがきに俳句・住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号を記入し、郵送または直接〒204-0021元町1-2-11生涯学習スポーツ課へ
※掲載にあたり、表現などを変える場合があります。
問合せ ①・②＝秘書広報課広報広聴係、③＝生涯学習スポーツ課 ☎495・7001

3本の木とともに

「清瀬は利他のまちです」と毎朝5時に約40〜60人が集う「倫理実践によって共に生きる仕合せを目指す―朝起き会―」で先日、宣言してきました。状況によっては自分のことだけ、自分の利益しか考えられない人も当然いるでしょうが、しかし、清瀬の持つ自然、風土、歴史は間違いなく「利他のまち」だと思えます。

そしたら何と学生とはいえ、現場経験5年以上のベテランである看護士さんたち約200人が、更なる現場力の向上を目指して認定看護師の資格取得のため、1年間の研修費を納め全国から来ていたのです。だからこの学校の校歌、極めて使命感にあふれています。「手を離さない手は手であるまに支えだから目を離さない 目は目であるまに祈りだから 苦しみの人の苦しみをみて…むすばれている同じいのちの痛みの根元で…いのちの謎に懼れつつ わけ入るう われらこの求められる手を手を離さない」。

「手を離さない」という題名の校歌はまさに「手をつなぎ心をつむぐ みどりの清瀬」のスローガンと同じ心です。そしてこの優しい心を培ってきた

自然を代表するのは柳瀬川です。柳瀬川の流れる人間を育て、4千500年前から縄文時代の集落を形成させ、今につながる清瀬の原点を築きました。しかし近代、便利さだけを享受した人間は一時母である柳瀬川を悪臭たどようドブ川にしました。それを復活させたのが公共下水道と水再生センターです。今から33年前、下宿地区の人々が何代も続いたであろうご先祖様の家屋敷を譲って、9市70万人のフンを浄化するセンター建設に協力したのです。

利他のまち、清瀬の歴史の尊さ、先祖先人先輩を大切にすることが清瀬の未来を作りだすと僕は信じます。

清瀬市長
渋谷 金太郎

「清瀬は利他のまちです」と毎朝5時に約40〜60人が集う「倫理実践によって共に生きる仕合せを目指す―朝起き会―」で先日、宣言してきました。状況によっては自分のことだけ、自分の利益しか考えられない人も当然いるでしょうが、しかし、清瀬の持つ自然、風土、歴史は間違いなく「利他のまち」だと思えます。

「手を離さない」という題名の校歌はまさに「手をつなぎ心をつむぐ みどりの清瀬」のスローガンと同じ心です。そしてこの優しい心を培ってきた

助けて詐欺未遂容疑の犯人逮捕に市民が貢献

4月11日、助けて詐欺未遂容疑の犯人逮捕に貢献した新井さんが、警察から感謝状を贈られ、市長を訪問されました。新井さんは、3月6日、不審な電話に対し、速やかに警察に通報し犯人逮捕に多大な協力をされました。



新井さん（左）と渋谷市長

「清瀬市高齢者保健福祉計画」第6期介護保険事業計画」を策定中
高齢者を取り巻く状況が大きく変化しているなか、市では現在、高齢者施策の基本的な考え方や目指すべき方向性を示す計画の策定を進めています。ぜひ傍聴にお越しください。
問合せ 高齢支援課

「赤ちゃんのチカラプロジェクト事業」参加できる赤ちゃん親子を募集

中学生が「命の大切さ」を学ぶ授業に子どもと一緒に参加して、中学3年生と触れ合ってみませんか。
対象 実施月に首が据わっている1歳までの子どもとその親。定員各12組
日時・場所 6月18日（水）20日（金） 11時〜13時、6月23日（月）11時〜13時、7月3日（木）4日（金）清瀬中
※詳しくは左記へ。
申込み 5月15日から20日までに電話でNPO法人子育てネットワーク・ピッコロ ☎44・4533（平日午前9時〜午後5時）へ



赤ちゃんに触れ合う中学生（昨年）

奨学資金貸付制度 平成26年度新規認定者から貸付金額（月額）を増額

市では、経済的理由で修学が困難な高校・大学生などに奨学資金を貸し付けています。なお、平成26年度から貸付金額を増額しました。
対象 市内に6か月以上居住（住民登録）し、引き続き市内に居住する方で、大学などに在学または入学予定で、成績良好・経済的理由により修学が困難・同種の公的貸付金を他から借りていない・連帯保証人を立てることができる方
貸付金額（月額） 高校・高等専門学校・専修学校（高等課程に限る）は2万円、大学・専修学校（専門課程に限る）は3万円以内
貸付期間 正規の修業年限の期間 ※申請期限など、詳しくは左記へ。
他の公的機関などによる奨学資金制度についてもご案内しています。
申込み 教育総務課学務係で配布する奨学資金貸付申請書に必要書類を添えて、直接同課へ